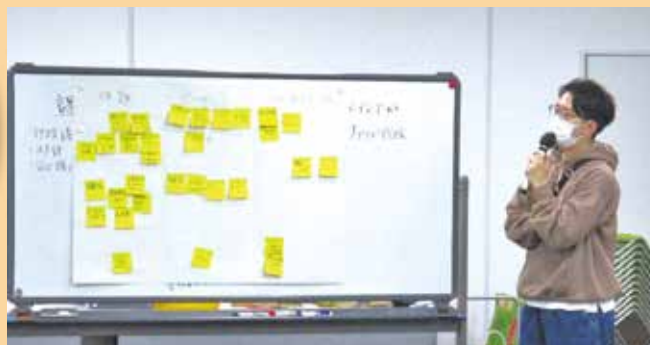


ローカルメディアとは？

今回のワークショップ講師を務めていただいたのは、「ローカルメディアのつくりかた」の著者である影山裕樹さん。影山さんは全国各地で地域プロジェクトの企画や運営をしながら、まちづくりに取り組む人たちを支えています。

身近でタイムリーな地域の姿をより魅力的に伝えるため、様々な媒体の独創的なローカルメディアを見てきた影山さんと参加者が意見を交わしました。



ローカルメディアの特徴

全国ネットの新聞紙やテレビ放送のようなマスメディアが広範囲で多くの人に同じ情報を一斉に伝えるのに対し、ローカルメディアが記事を発信する対象は主にその地域に暮らす人々であり、情報とそれを受ける人との距離が近く、情報に対する反応も発信者に届きやすい。SNSが発達してローカルな情報を世界中に伝えられるようになり、長く発信し続けていけば思いがけないところで話題に上ることもあるため、ローカルメディアは地道につくり続けることで効果が表れやすくなる遅効性のメディアと言えます。



ニュースを伝える人と受け取る人の間で、情報が一方通行ではなく双方向にやり取りし易いのがローカルメディアの良いところ！ローカルメディアって人の結びつきができるね。

らいさまは取材のときにも取材を受ける人と編集委員が意見を交わしたりするから、情報提供者とらいさまをつくる人と読む人がそれぞれ情報をやり取りしてるってことだね。



記事の感想

取材希望

情報提供



つなごうね！
条例10条

(協働)

第10条 市民、議会及び市は、まちづくりを推進するために、それぞれの立場を理解し、目的を共有し、相互に依存することなく力を合わせて、その実現に努めるものとする。